

救急医療関連テレホンサービス・インターネットサービス

テレホンサービス

【千葉市】医療機関案内（健康企画課）※市外局番はすべて「043」です。



こども急病電話相談

受診した方が良いのか、様子をみても大丈夫なのか、看護師や小児科医が電話でアドバイスします。プッシュ回線の固定電話・携帯電話からは、局番なしの

#8000

親子市からは、043(242)9939におかけください。

- ダイヤル回線、光電話、IP電話、親子市からおかけの場合
☎043(242)9939
- 相談日時
毎日・夜間 午後7時～午後10時
- 対象年齢
18歳以下

お子さんの急な病気で心配なとき…
局番なしの#8000または、043(242)9939にかけます。

看護師・小児科医が電話で相談に応じます。

緊急・重症の場合は迷わず「119」へ

インターネットサービス

※（ ）は携帯電話用です。
QRコードでアドレスを簡単に入力することができます。

【千葉市】
医療機関情報（健康企画課ホームページ内）

<http://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/kenkou/kikaku/doctor-top.html>

（<http://www.city.chiba.jp/mobile/hokenfukushi/kenkou/kikaku/kyukyuiryo-mobile.html>）

【千葉県】
ちば救急医療ネット（医療機関検索）ちば医療なび（医療機関・薬局検索）
<http://www.qq.pref.chiba.lg.jp/>
（<http://www.qq.pref.chiba.lg.jp/mb/>）

ちば救急医療ネット★

ちば救急医療ネットは、夜間や休日の急病時などに医療機関を受診する際に役立つ千葉県内の救急医療機関情報をホームページで県民の皆様提供しているシステムです。

【日本小児科学会】

こどもの救急（夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうか、判断の目安を提供しています。）

<http://kodomo-qq.jp/>

【その他】

消防局トップページ（消防全般）

http://www.city.chiba.jp/shobo/yobo/yobo/shobo_top.html

消防局救急課ホームページ

（救急業務・救急統計など）

<http://www.city.chiba.jp/shobo/keibo/kyukyu/>

公益財団法人千葉市防災普及公社ホームページ
（救命講習）

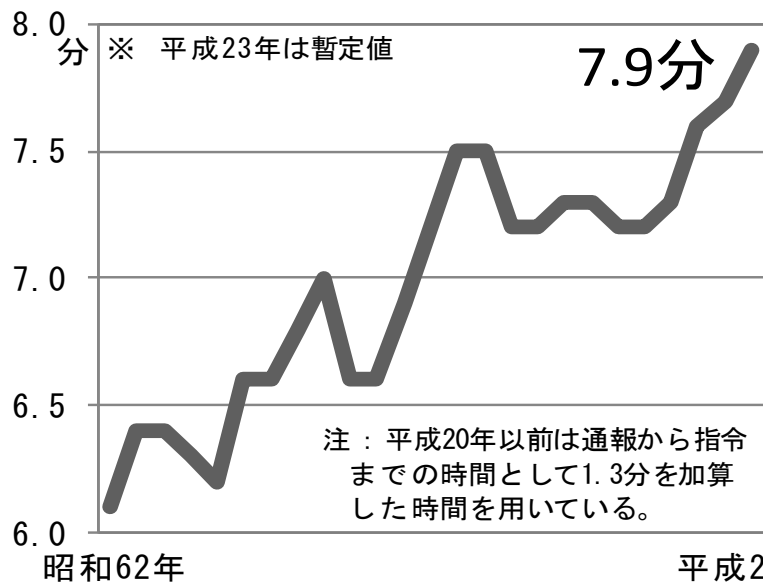
<http://www.chiba-bfk.or.jp/>

千葉市消防局

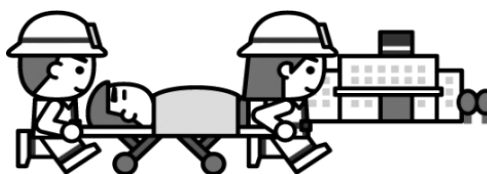
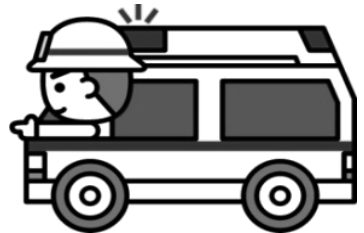
【お問合せ】警防部救急課 ☎043-202-1657 メール kyukyu.FPD@city.chiba.lg.jp H24.3

救急車の利用が増加しています!!

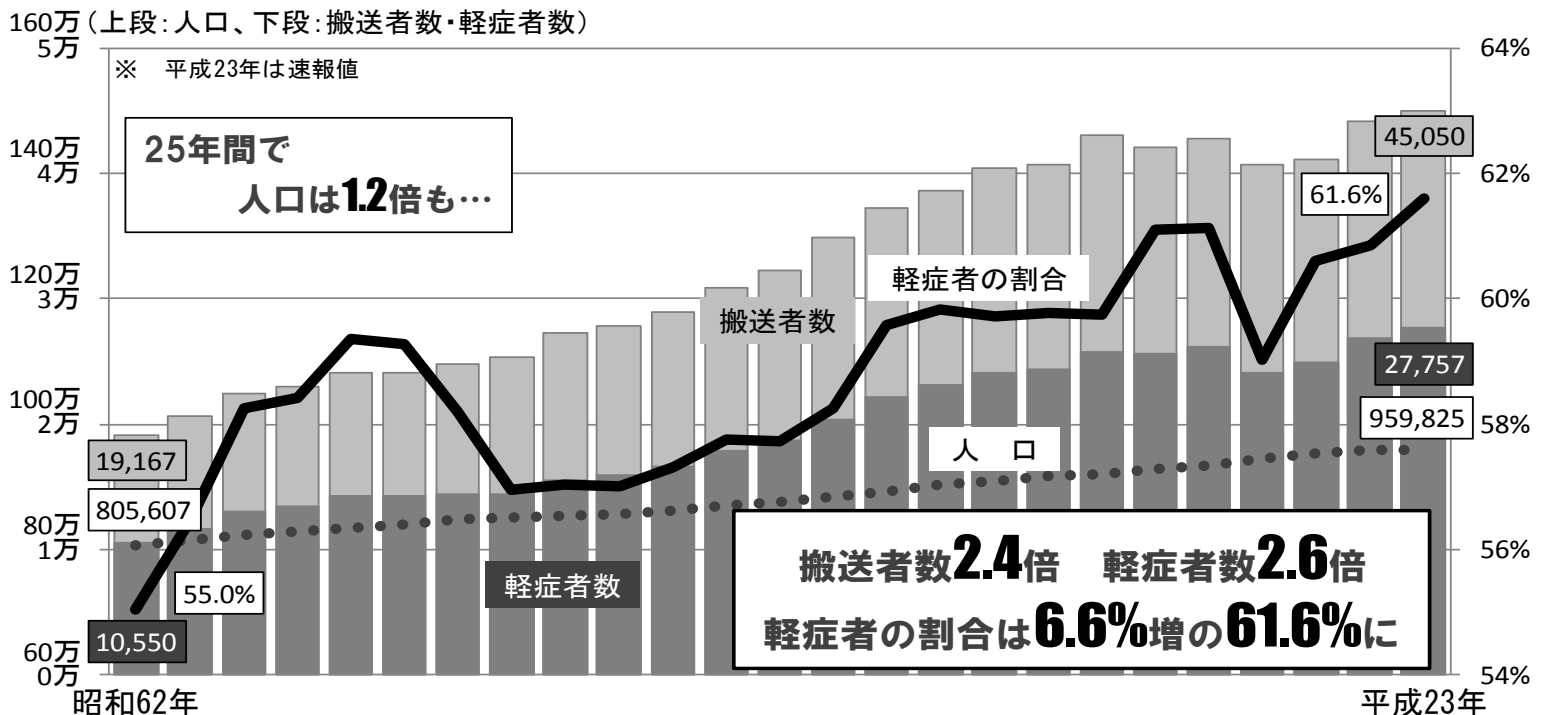
千葉市における昨年の救急出動の概況は、右表のとおりで、いずれも過去最高となりました。



救急車が現場に到着するまでの時間は、約 **8** 分。症状の軽い病気やけがによる救急車の利用が増加しているため、年々遅延傾向となっています。



下のグラフをみると、人口の増加に対し、搬送者数と軽症者数は、その2倍以上も増加してるのが分かります。このため、救急車の現場到着時間が遅延するほか、医療機関の負担が増大し、結果として、長時間、救急車が現場に滞在することが多くなっています。



このままでは、生命や予後に影響を及ぼす可能性の高い患者など、本当に救急車を必要とする人が困ることになります。

このようなことが起こらないようにするため、当局では市民に対し、「**救急車の適正利用**」を呼びかけています。



救急車を適正に 利用するためには??

1 「かかりつけ医」を持ちましょう!

私たちの身近にいて、病歴や体質のほか、家族の過去の病気などをよく知る、かかりつけ医を持つことが大切です。特に、小さなお子さんやお年寄りのいる家庭では、何でも相談できる、かかりつけ医を持つと安心です。



救急車や救急医療は限りある資源です。
救急車を適正に利用し、救急医療を安心して
利用することのできる社会を目指すために、
市民の皆さまのご協力をお願いします。

3 こんな症状は、ためらわず「119番」に!

顔

- 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい、うまく話せない
- 視野がかける
- ものが突然二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

手足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)
- ぐったりしている

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

大人

頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないぐらい急にふらつく

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2~3分続く
- 痛む場所が移動する

腹

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある

飲み込み

- 食べ物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい
- 変なものを飲み込んで、意識がない

事故

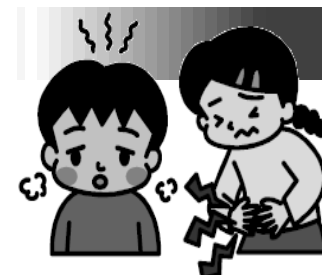
- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

【引用】
千葉市保健医療事業団「急病になったときのために」
<http://www.chiba-hm.jp/first-aid-knowledge.html>
【(パソコン・スマートフォン用) QRコード】→

消防庁「救急車を上手に使いましょう」
http://www.fdma.go.jp/html/life/kyuukyusya_manual/
【(パソコン・スマートフォン用) QRコード】→

2 「早期発見・早期治療」が大事です!



病気を治すには、軽いうちに治療を受けることが大事です。異常に気付いたらかかりつけ医に相談しましょう。特に、夜間や休日、連休の前には、早めに受診するようにしましょう。

千葉市では「夜救診」や「休日診」などの救急医療体制を整備していますが、これは夜間や休日に急に具合が悪くなった方に初期の応急処置を行うための診療所で、翌日にかかりつけ医を受診していただくことを原則としています。



図のような場合は、重大な病気やけがの可能性があるので、救急車を要請してください。

顔

- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い

手足

- 手足が硬直している

意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)

じんましん

- 虫に刺されて、全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

生れて3カ月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい

小児(15歳未満)

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがり、嘔吐が止まらない
- ウンチに血がまじった

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

やけど

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど

飲み込み

- 変なものを飲み込んで、意識がない

事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

すぐに
119

